

LACLEAR

ランドリーユニット収納 [ラクリア]

取扱説明書

必ずお読みください



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※)を負うことが想定される危害・損害の程度を示す。

(※)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



- 製品にのったり、ぶら下がったりしない。

扉や棚板、パイプにのったり、ぶら下がったりしないでください。破損・落下してケガをするおそれがあります。



- 丁番などの可動部には手を入れない。

丁番などの可動部や扉と側板の間には手や指を入れないでください。指をはさんでケガをするおそれがあります。小さなお子様には充分ご注意ください。

- 昇降ユニットに割れやすいものや、ピンなどの不安定なもの、薬品などの危険なものを収納しない。

落下による事故の原因になります。

- 昇降ユニット内の収納物を高さガイドバーより上へ出さない。

落下・破損や事故の原因になります。

- 作業時などは昇降ユニットを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつけるおそれがあります。

- すべりやすい収納物を昇降ユニット内で横積みしない。

すべり落ちるおそれがあります。



- 昇降ユニットのパネ切替レバーは収納重量に対して適切にセットする。

昇降ユニットが勢いよく戻ったり急降下して、収納物が落下したり昇降ユニットが変形、落下しケガをするおそれがあります。



- 耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。

重量物をのせると、棚板やパイプが変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。(裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



- 製品にシンナーなどの溶剤を付着させない。

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



- 粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



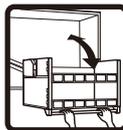
- 製品に直接水をかけない。

製品に直接水をかけないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



- 暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因になります。



- 昇降ユニットは両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れする。

お手入れ



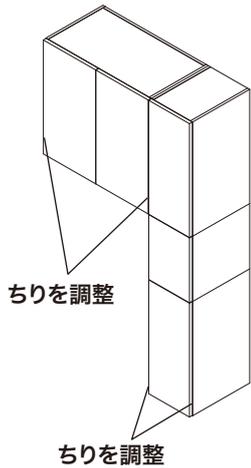
- 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きします。

- 汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ強く絞って拭き取り、よく乾燥させます。

扉の調整方法



ご注意

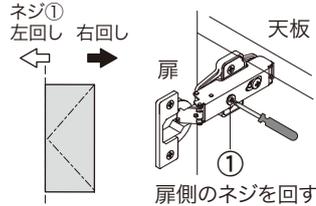
扉の調整後必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることをご確認ください。

扉の調整方法

扉の左右の位置を調節

①のネジを左右に回して扉の左右の位置を調整してください。

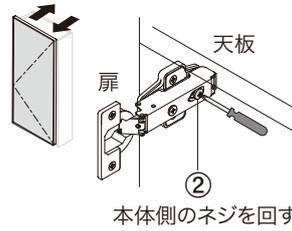
吊元	ネジ①	扉
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く



※吊元: 右側の場合は上表を参照ください。

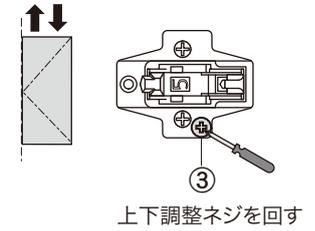
扉とボックスの隙間を調節

②のネジをゆるめ扉を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



扉の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ扉を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。

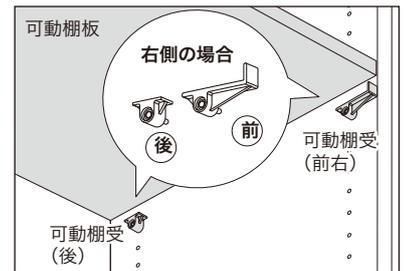


可動棚の取り付け

棚を設置したい高さのダボ穴に、可動棚受のピンを差し込み、可動棚板をのせてください。

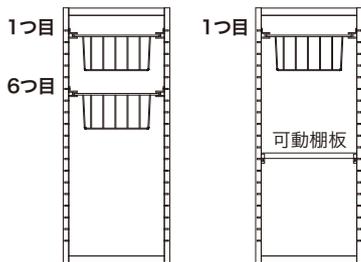
ご注意

- 可動棚受には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時、ご注意ください。
- 可動棚が水平に設置できるように、可動棚受の取り付け位置が同じ高さになるようご注意ください。



サイドバスケットの取り付け

取り付け推奨位置



ご注意

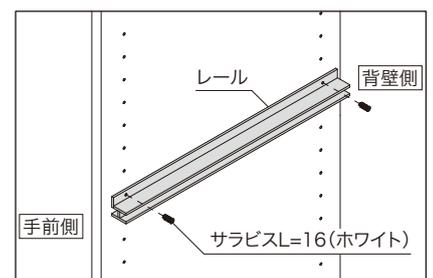
座金取り付け位置(上から3・4つ目と下から3・4つ目)にはバスケットと可動棚を取り付けられません。

1 レールの取り付け

レールをサイドボックス側板のダボ穴にサラビスL=16(ホワイト)で固定します。

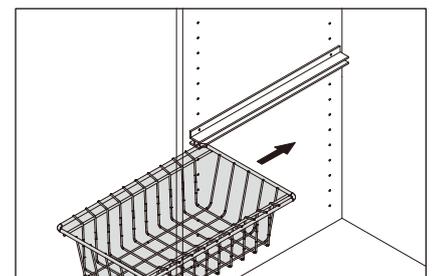
ご注意

- レールに前後はありません。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。レールが破損するおそれがあります。



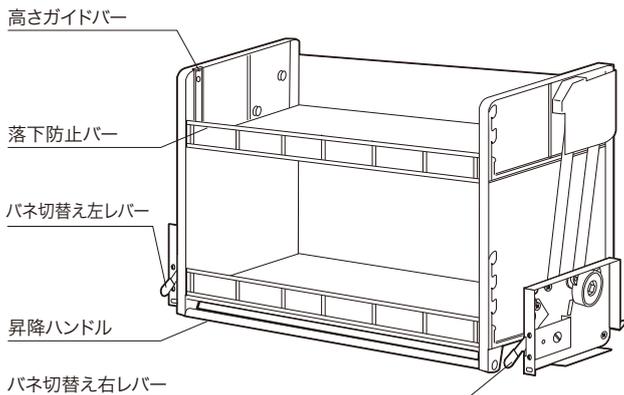
2 バスケットの取り付け

レールにバスケットを差し込みます。



昇降ユニットについて

各部の名称

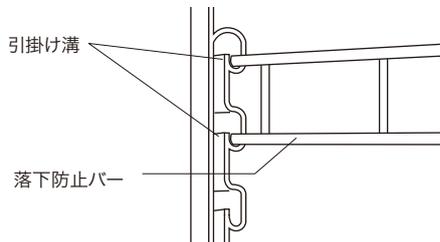


落下防止バーの移動方法

落下防止バーを両手で持ち、上下に移動させてください。
落下防止バーの両端は確実に、引掛け溝に入れてください。

ご注意

収納物の落下防止のため、必ず落下防止バーをかけてください。

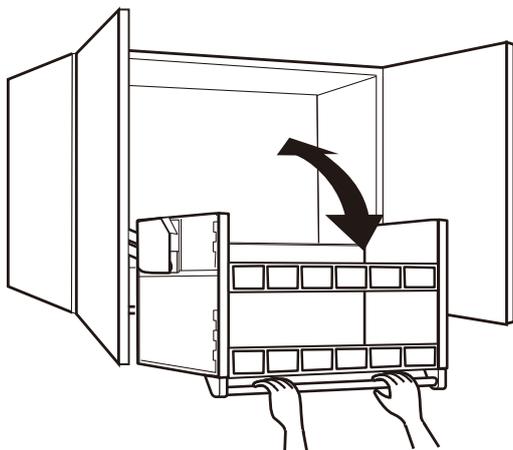


昇降ユニット 昇降方法

扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。

ご注意

使いはじめの、何も収納物が載っていない時は、パネ切替えレバーは左右とも「少」の位置で引き降ろしてください。それ以外の位置だと操作が重く感じます。



昇降ユニット パネ切替えレバーの操作

下の表を目安にパネ切替えレバーを収納量に応じて調節し適切な範囲で使用してください。
また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して必要があれば調節してください。



収納重量	レバー	左レバー	右レバー
約0~5kg		少	少
約5~10kg		少	多
		多	少
約10~15kg		多	多

- 衝撃が無く、ちょうど下まで降下する状態がそのレバー設定の限界重量目安です。
- 昇降ユニットが下がっている時には、レバーは切り替えできません。

耐荷重の目安値 数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値	
メインボックス	固定棚板	20kg
	可動棚板	20kg
	ハンガーパイプ	20kg
サイドボックス	固定棚板	10kg
	可動棚板	10kg
	バスケット	5kg
サイドサブボックス	固定棚板	10kg
	可動棚板	10kg
昇降ユニット	15kg	